

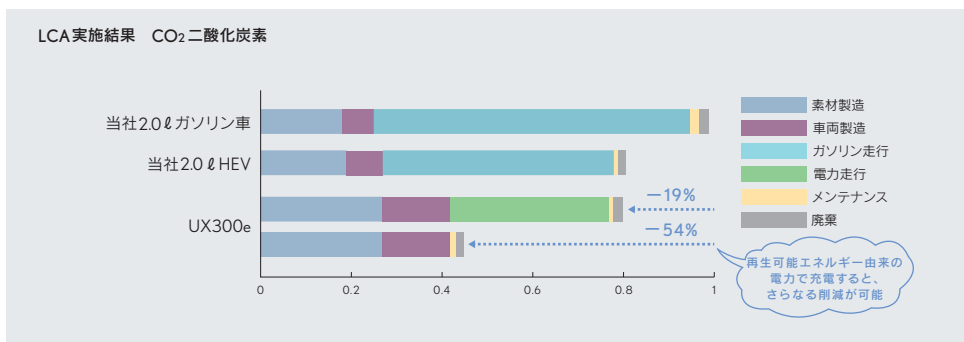
環境性能は、この星の未来のために。

「人とクルマと自然が共生する社会」をめざして ～トヨタ環境チャレンジ 2050～

レクサスは温室効果ガスに起因する異常気象、生物多様性の喪失、水不足など、深刻化する地球環境の諸問題に対し、これまでも幅広い取り組みを推進してきました。カーボンニュートラルの実現に向けて今後もクルマの環境負荷をゼロに近づけるとともに、地球や社会にプラスとなる取り組みを通じて、SDGsの達成に貢献します。

Life Cycle CO₂ Design

レクサスは、クルマの製造・輸送・走行・メンテナンス・廃棄に至る全ライフサイクルでのCO₂削減に取り組んで来ました。UX300eは同車格のガソリン車に対して、ライフサイクルで約19%のCO₂を削減、同車格のHEVに対しては約2%のCO₂を削減します。再生可能エネルギーの利用により約54%のCO₂削減が可能となります。



LCA Method Certified
www.tuv.com
ID 000004504

レクサスでは、資源採取から廃棄・リサイクルまでの各段階を、クルマが環境に与える要因を定量的に総合評価する手法「ライフサイクルアセスメント (LCA)」で評価し、自動車の生涯走行距離10万km (10年) で計算した場合の結果を指数で示しています。

レクサスが乗用車を対象に実施しているLCAの手法は、ドイツの第三者認証機関テュフラインランドによるISO14040/14044に基づく審査・認証を受けました。

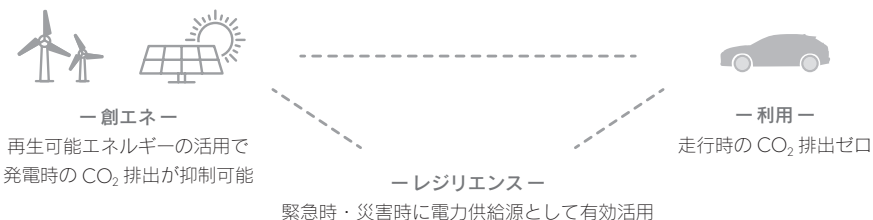
Green Clean Factory

UX300eをつくる工場は、環境モデル工場をめざしています。生産工程への省エネ技術の導入や、製造工程におけるたゆまぬ日常改善によって、徹底的な省エネ活動を実施。また、太陽光発電や地中熱といった再生可能エネルギーや水素など、クリーンなエネルギーを積極的に活用し、CO₂排出量ゼロをめざして、環境に負荷をかけないクルマづくりに努めてまいります。



Electricity

現段階では、電気を発電する過程でCO₂が排出されています。将来、太陽光や風力・地熱などの再生可能エネルギーが普及することで、CO₂排出量を大幅に抑えることが可能となります。



レクサス UX300e 環境仕様

		UX300e	
		"version L"	"version C"
車両仕様	車両型式	ZAA-KMA10	
環境情報	車外騒音 加速/定常/近接 *1 (dB)	70 (規制値) / - / -	
	冷媒の種類 (GWP値) / 使用量 (g)	HFO-1234yf (1*2) / 550	
	環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年自主目標達成 (1996年比1/10以下 *3)
		水銀	自工会自主目標達成 (2005年1月以降使用禁止 *4)
		カドミウム	自工会自主目標達成 (2007年1月以降使用禁止)
		六価クロム	自工会自主目標達成 (2008年1月以降使用禁止)
	車室内VOC	自工会自主目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値 *5 以下)	
	リサイクル関係	リサイクルしやすい材料を使用した部品	バンパーカバー、インストルメントパネル、その他内装材
		植物素材の活用	ケナフ
		樹脂、ゴム部品への材料表示	あり
		リサイクル材の使用	ダッシュサイレンサー

- *1. 平成28年騒音規制
- *2. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下 (対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値) にすることを求められております。
- *3. 1996年乗用車の業界平均1,850g (バッテリーを除く)。
- *4. 交通安全の観点で使用する部品 (ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージランプ、室内蛍光灯) を除く。
- *5. 厚生労働省が2002年1月に定めた指定物質で自動車に関する物質の指針値